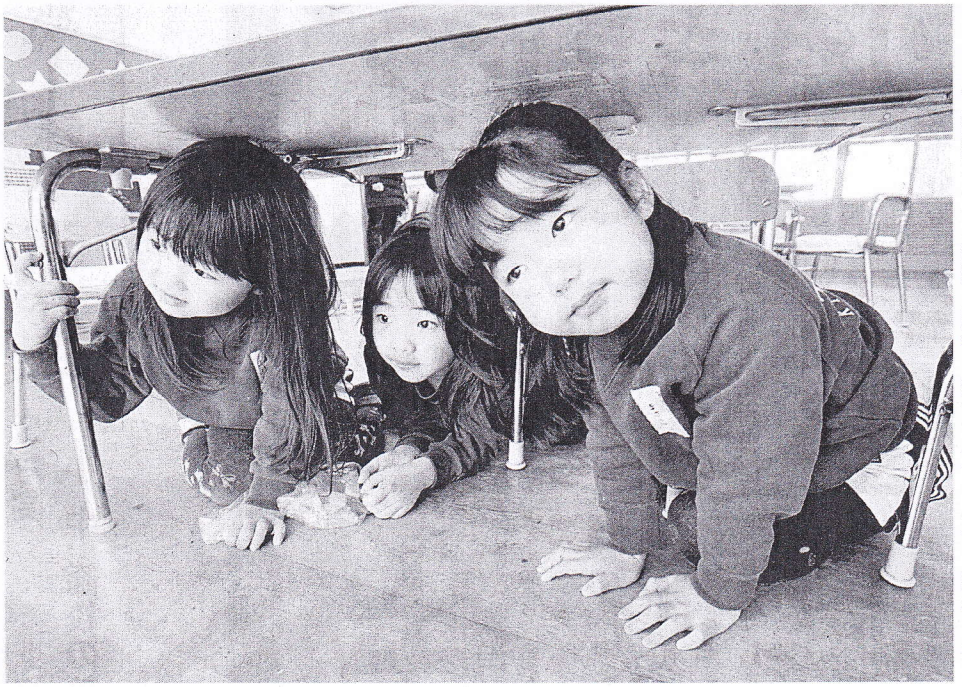
訓練、祈り…あの日から3年

京都市のシェイクアウト訓練で、一斉に机の下に潜る園児＝下京区の高倉幼稚園で



東日本大震災の発生から3年を迎えた11日、府内では府や各自治体、ラジオ局などで防災訓練が行われたほか、東京電力福島第1原発事故の終息を願う祈りもささげられた。【花澤茂人、藤田文亮】

京都市では、同じ時刻に身を守る行動をする防災一斉行動（シェイクアウト）訓練があり、市内の事業所や学校などで約12万100人が参加した。訓練は昨年に続き2回目。今年は事前に地震の発生を知らせる緊急速報メールは送信せず、午前9時半に合わせ一斉に机の下に隠れるなどの行動を各自で取るよう要請した。その数分後、避難呼び掛けメールを送った。

高倉幼稚園（下京区）では、園児約90人が一斉に机の下に潜った後、頭にクッションを乗せ園庭に避難した。村上幸美園長が「震災では多くの方が亡くなった。その方たちから教えていただいたことを無駄にしないよう、大きな地震の時にどうしたら良いか考えてください」と訴えた。藤吉梓ちゃん(6)は「ちょっと怖かったけど、本当の地震の時には今日のことを思い出したい」と話した。

東日本大震災 京都市

12万人が「防災一斉行動」

園児、素早く机の下に

停電状態にした薄暗いスタジオで、技術スタッフ（左）も含めて全員で訓練の告知アナウンスをしたコミュニティーFM「京都三条ラジオカフェ」＝中京区で

技術職もアナウンス FM局放送訓練

京都市中京区にあるコミュニティーFM「京都三条ラジオカフェ」は、市のシェイクアウト訓練に併せ、被災時を想定した放送訓練をした。

外部電源を切り、自家発電機による電気のみを使用。照明が落ちて薄暗いスタジオでは、局員5人がライト付きヘルメットをかぶって作業した。アナウンサーがたどり着けないことも考慮して、技術職も含めて全員がアナウンスを担当。午前9時から40分間、訓練の告知や身を守る方法などを電波に乗せた。

時岡浩二放送局長は「毎月、停電訓練をしているので、災害時はラジオを活用する識を持ってほしい」話していた。

原発事故終息を祈願 上賀茂神社

京都市北区の上賀茂神社では、原発事故で府内に避難している人らを招いて、被災地復興と原発事故終息の祈願があった。

上賀茂神社は電気の守り神とされ、震災直後から毎朝神職が祈願している。この日は避難者5人が神職らと祈りをささげた後、地震発生の午後2時46分に合わせ本殿で静かに拝礼した。茨城県中部から京市伏見区に自主避した女性(41)は4歳長女と参加。「3年ってもいろいろなを受け止めきれなまま。小さい子供をろうと震災で命をとした方もいた中で自分がこうして生ていることに感謝込めて祈った」と話た。

午後2時46分に合わせ拝礼する避難者ら＝北区の上賀茂神社で